



Hinamatsuri (Girls' Day) : 授業アイデア (簡単版)

ひな祭り (桃の節句) をテーマにした英語の授業アイデア 5本

Class _____ No. _____ Name _____

1. ひな壇を英語で説明しよう (Show and Tell)

中学・20分

🌀 位置を表す前置詞 (at the top / below / next to) を使って、ひな壇の人形を英語で説明できる。

1. ひな壇の写真かイラストを配り、人形の名前を英語で確認する (emperor, empress, court ladies, musicians)。
2. 教師が The emperor doll sits at the top. のように例文を示す。
3. ペアで1人がひな壇の説明をし、もう1人は白紙に人形の位置を描く。
4. 描いた絵と元の写真を比べ、言い方を直してから役割を交代する。

2. 流し雛から考える「お守り」くらべ

高校・30分

🌀 人形に厄を移して流す考え方を、世界のお守り・厄よけと比べて英語で発表できる。

1. 本文の第3段落を読み、流し雛の考え方を英語で要約する。
2. グループで世界の厄よけ (ドリームキャッチャー、ナザール・ボンジュウ、てるてる坊主など) を1つ選んで調べる。
3. Both ... and ... / But ... を使って、流し雛との共通点と違いを3文で書く。
4. 1グループ1分で発表し、ほかのグループは質問を1つする。

3. はまぐりペア探しゲーム

小学校・15分

🌀 貝合わせの遊びを体験しながら、英単語と絵を結びつける。

1. 貝の形のカードを作り、片方に英単語、もう片方に絵を書く (doll, peach, clam など)。
2. カードを伏せて並べ、神経衰弱の要領で2枚ずつめくる。
3. めくったら単語を声に出して読む。ペアがそろったら Match! と言う。
4. 最後に「はまぐりは相方としか合わない」という話を英語で紹介する。

4. 青い目の人形：手紙を書こう

高校・45分

🌀 1927年の人形交流を知り、人形に持たせる手紙を英語で書くことで、文化交流の意味を考える。

1. advanced の英文を読み、人形が何を持って来たかを確認する。
2. なぜギュリックが子どもに期待したのかを、ペアで話し合う。
3. 自分が海外の子どもに人形を贈るとしたら、どんな手紙を持たせるかを英語で8~10文で書く。
4. 手紙をグループで回し読みし、心に残った表現を1つずつ紹介する。

5. ひな祭り vs. 世界の「女の子の日」ミニ調べ学習

大学・60分

🌀 ひな祭りと国際ガールズ・デーなどを比べ、祝う行事と考える行事の違いを英語で議論する。

1. compare の表を読み、それぞれの日の目的を英語で整理する。
2. 「祝う日 (celebration)」と「考える日 (awareness day)」に分類する。
3. ひな祭りに awareness の要素を加えるなら何ができるか、グループで提案をまとめる。
4. 提案を2分で発表し、ほかのグループと意見を交わす。



1. ひな壇を英語で説明しよう (Show and Tell)

授業手順書（詳細版）／対象：中学／20分

Class _____ No. _____ Name _____

🎯 ねらい

at the top / below / next to などの位置を表す表現を使って、ひな壇のどこにどの人形がいるかを英語で説明できる。

📋 準備

- 七段飾りのひな壇の写真かイラスト（A3に拡大して黒板用に1枚、ベアに1枚ずつ）
- 人形の名前カード（emperor / empress / court ladies / musicians）
- 白紙（B5・ベアに2枚。階段の線だけ印刷しておくとし書きやすい）
- このサイトの英語ページ本文の第2段落と音声
- 基本セット p.3（マッチング・並べかえ）
- 基本セット p.6（並べかえ）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	4	ひな壇の写真を黒板に貼り、英語ページ本文の第2段落の音声を流す。The dolls sit on steps covered with red cloth. の文で写真の赤い段を指さす。人形の名前カードを写真の人形の横に貼りながら、全員で発音する。	音声を聞き、写真の人形と英語の名前を結びつける。名前カードの単語をくり返して言う。	"Look at this picture. These are hina dolls." "Listen. Where do the dolls sit? Yes, on red steps." "This is the emperor. This is the empress." "Repeat after me. Court ladies. Musicians."
展開1	5	The emperor doll sits at the top. / The court ladies are below the emperor and the empress. / The empress sits next to the emperor. の3文を板書し、写真を指しながら読む。at the top・below・next to に色チョークで線を引く。次に先生が文を言い、生徒が写真のどの人形かを指で示すクイズを3問出す。	例文をくり返し、先生の英文を聞いてどの人形のどこかを写真で指さす。	"The emperor doll sits at the top." "The court ladies are below the emperor and the empress." "Listen and point. They are on the third step. Who are they?" "Good. They are the five musicians."
展開2	8	ベアを組み、説明役は写真を相手に見せずに英語で人形の位置を説明する。聞き役は白紙に人形の位置を描く（棒人間でよい）。3分たったら描いた絵と写真を比べ、ずれたところの言い方を一緒に直す。役割を交代して同じように行う。	説明役は at the top / below / next to を使って3文以上言う。聞き役は英語だけを頼りに描き、最後に写真と比べる。	"Don't show the picture to your partner." "Explain the steps in English. Your partner will draw." "Stop. Check your drawing with the picture." "Now change roles."
まとめ	3	絵がいちばん写真に近かったベアの説明役に、使った英文を発表してもらおう。うまく伝わった表現を板書に足す。宿題として基本セット p.6 の並べかえ（The dolls sit on red steps. など）を配る。	発表を聞き、使えそうな表現をノートに写す。	"Your drawing is very close. What did your partner say?" "Let's write this sentence on the board." "For homework, do page 6 of the worksheet."

📌 板書例

Hina dolls on red steps

The emperor doll sits at the top. (いちばん上)
 The empress sits next to the emperor. (となり)
 The court ladies are below them. (下)

emperor 天皇 / empress 皇后
 court ladies 官女 / musicians 五人囃子

✅ 評価のポイント

- at the top / below / next to を正しい位置関係で使えたか（聞き役は絵と写真のずれで確認）。
- 説明役として3文以上、人形の名前と位置をセットで言えたか。
- 聞き役が分からないときに Again, please. など聞き返せたか。

👉 つまづきへの手だて

- 名前が出てこない生徒には、名前カードを机の上に置いたまま説明させる。
- 文が作れない生徒には The ____ is/are ____ the ____ の型を書いたカードを渡す。
- 描くのが苦手な生徒には、階段の線を印刷した紙に丸を描くだけでよいと伝える。

🌟 発展

- 英語ページ本文の A big set can have seven steps and fifteen dolls. を読み、15体を数えてみる。
- 自分の家の飾り（雛人形・五月人形・本棚など）を同じ表現で説明させる。
- 基本セット p.4 クロスワード（EMPEROR・EMPRESS・STEPS が入っている）に取り組む。

📖 使う教材

- このサイトの英語ページ本文（第2段落）と音声
- 基本セット p.3（マッチング・並べかえ）
- 基本セット p.4（クロスワード）
- 基本セット p.6（並べかえ）



2. 流し雛から考える「お守り」くらべ

授業手順書（詳細版）／対象：高校／30分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

人形に厄を移して川に流すという考え方を英語で要約し、世界の厄よけ・お守りと比べて共通点と違いを英語で発表できる。

準備

- このサイトの英語ページ本文の第3段落（印刷と音声）
- 厄よけの写真（ドリームキャッチャー、ナザール・ボンジウ、てるてる坊主）を各グループに1セット
- 調べ学習用の端末（グループに1台）
- 発表メモ用のワークシート（Both ... and ... / But ... の書き出し入り）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	5	第3段落の音声を聞かせ、But long ago, these dolls were not for display. の意味を確認する。「飾るものではなかったら、何のための人形だった？」と問い、本文から答えを探させる。	本文を読み、人形で体をなでて災いを移し、川に流したことを見つける。	“Long ago, the dolls were not for display. What were they for?” “Find the answer in the paragraph.” “Right. People gave their bad luck to the dolls.”
展開1	7	ペアで第3段落を英語2文に要約させる。キーワードとして paper or grass / bad luck / float away を板書する。2～3組に読ませ、よい要約を板書する。	ペアで2文の要約を書き、発表する。	“Summarize the paragraph in two sentences.” “Use these words: bad luck and float away.” “Can you read your summary?” “Good. That is short and clear.”
展開2	10	グループで厄よけを1つ選ばせ、端末で何のためのものか、どう使うかを調べさせる。そのうえで Both ... and ... で共通点を1文、But ... で違いを2文書かせる。机間巡視で、事実が確かめられた内容だけを書くよう声をかける。	選んだ厄よけについて調べ、流し雛との共通点1文・違い2文を英語で書く。	“Choose one charm. Find out what it is for.” “Write one sentence with both ... and” “Then write two sentences with but.” “Where did you find this information?”
まとめ	8	1グループ1分で3文を発表させる。聞いているグループは質問を1つする。全体を通して「悪いものを物に移す」「物が守ってくれる」の2種類があることに気づかせて終わる。	3文を発表し、ほかのグループの発表に英語で1つ質問する。	“You have one minute. Please start.” “Any questions for this group?” “Some charms take bad luck away. Others protect you. Which type is nagashi-bina?”

板書例

nagashi-bina（流し雛）

Long ago, the dolls were not for display.

paper or grass → touch your body → bad luck → float away

Both nagashi-bina and ____ are used to ____.

But nagashi-bina ____, while ____.

① 悪いものを移す（take bad luck away）

② 守ってもらう（protect）

評価のポイント

- 第3段落の要約に、災いを移すことと川に流すことの両方が入っているか。
- Both ... and ... / But ... の文で、共通点と違いを区別して書けたか。
- 調べた内容が、確かめられる情報にもとづいているか。

つまづきへの手だて

- 要約が書けないペアには、第3段落の中から使える文に下線を引かせ、それをつなげさせる。
- 調べる時間が足りないグループには、てるてる坊主（日本語で知っている人が多い）を選ばせる。
- 英文の書き出しをワークシートに印刷しておき、空所を埋めるだけで3文になるようにする。

発展

- 英語ページ本文の第3段落の最後 Some towns still do this today を受け、今も流し雛を行う地域を調べる。
- Discussion の問い How would you explain the idea of a doll that takes away bad luck to someone from another culture? に英語で答える。
- アクティビティ集 B5（国くらべ）の表を使い、他の国の厄よけも並べて比べる。

使う教材

- このサイトの英語ページ本文（第3段落）と音声
- アクティビティ集 B5（国くらべ）



3. はまぐりペア探しゲーム

授業手順書（詳細版）／対象：小学校／15分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

貝合わせのような神経衰弱を楽しみながら、ひな祭りに出てくる英単語と絵を結びつけて言える。

準備

- 貝の形のカード（1グループ12枚：単語6枚と絵6枚。doll / peach / clam / river / box / girl など）
- 本物のはまぐりの貝がら1組（あれば）
- 基本セット p.3 のマッチングの絵（カードの絵に使える）
- 基本セット p.8 （なぞり書き・ぬりえ）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	3	絵カードを1枚ずつ見せて英語で言い、子どもにくり返させる。はまぐりの貝がらがあれば、2枚を見せて「この貝は何？」と聞き、clam という言葉を教える。	絵を見て英単語をまねて言う。	“What's this? It's a doll.” “Say it with me. Peach.” “This is a clam. Clam!”
展開1	2	先生が代表の子と1回やって見せる。カードを2枚めくり、それぞれ英語で読む。単語と絵が合ったら Match! と言ってもらえる、合わなければ元に戻す、というルールを見せる。	ルールを見て、Match! の言い方を練習する。	“Turn over two cards.” “Say the words. Doll. Peach.” “Not the same. Turn them back.” “Doll and a doll picture. Match!”
展開2	7	4人グループでゲームをする。めくったカードは必ず声に出して読むことだけを約束にする。先生は回りながら、読めていない単語を一緒に言う。	順番にカードをめくり、単語を読む。ペアがそろったら Match! と言う。	“Your turn. Say the word.” “Great! Match!” “Who has the most cards?”
まとめ	3	はまぐりの貝がらを見せ、ちがう貝の片方とは合わないことを実際に試して見せる。「はまぐりは自分の相方としか合わない」と英語で短く伝える。時間があれば p.8 のぬりえを配る。	貝がらがぴったり合う様子を見て、話を聞く。	“Look. These two shells fit.” “This shell does not fit. Only its own partner fits.” “So clams mean a happy pair.”

板書例

doll peach clam
river box girl

Match! (そろった!)

A clam shell fits only its own partner.
はまぐりは自分の相方としか合わない

評価のポイント

- めくったカードの単語を英語で言えたか（グループを回って確認）。
- 単語と絵の組み合わせを正しく判断できたか。

つまずきへの手だて

- 単語が読めない子のカードには、小さく絵も描いておく。
- 記憶が苦手な子がいるグループは、カードの枚数を8枚に減らす。
- 言えない子には、先生が同じグループの子が先に言い、まねして言えればよいことにする。

発展

- カードを全部表にして、先生が言った単語を早く取るカルタにする。
- 基本セット p.8 のなぞり書きで dolls・shell などの単語を書く。
- 英語ページの音声で A clam shell fits only its own partner の文を聞く。

使う教材

- 基本セット p.3（マッチング）
- 基本セット p.8（なぞり書き・ぬりえ）
- このサイトの英語ページ本文（第4段落）の音声



4. 青い目の人形：手紙を書こう

授業手順書（詳細版）／対象：高校／45分

Class _____ No. _____ Name _____

🎯 ねらい

1927年の人形交流の流れを英文から読み取り、海外の子どもに贈る人形に持たせる手紙を英語で8～10文書ける。

📋 準備

- このサイトの英語ページの発展英文 The Blue-Eyed Dolls（印刷・人数分）
- 発展セットの読解問題（このページの quiz）
- 手紙用の便せん（罫線入り・人数分）
- 地図（アメリカと日本、太平洋が入るもの）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	5	地図を見せ、「1927年、約1万2千体の人形が太平洋を渡った」とだけ伝える。人形が旅をするなら何を持っていくと思うか、ペアで1分予想させる。	人形が持っていた物を予想し、英語か日本語で言う。	“In 1927, about 12,000 dolls crossed this ocean.” “They traveled like people. What did they carry?” “Make a guess with your partner.”
展開1	12	発展英文の第1・第2段落を黙読させ、人形が持ってきた物（passport, ticket, letter）、計画を率いた人、日本が贈り返した人形の数を表にまとめさせる。答え合わせのあと、第3段落を読み、戦争で人形がどうなったかを確認する。	本文を読んで表を埋める。第3段落から、多くの人形が壊され、人々がこっそり隠したおかげで残った人形もあることを読み取る。	“Read paragraphs 1 and 2. Fill in the table.” “What did each doll carry?” “How many dolls did Japan send back?” “Now read paragraph 3. What happened to the dolls during the war?”
展開2	6	ペアで「なぜギュリックは政治家ではなく子どもに期待したのか」を話し合わせる。本文の he believed that children could build the friendship that politicians were failing to create. を根拠として示す。2～3組の考えを板書する。	ペアで理由を考え、本文の文を根拠に英語で1～2文にまとめる。	“Why did Gulick trust children, not politicians?” “Find a sentence that supports your idea.” “Share your idea with the class.”
展開3	15	「自分が海外の子どもに人形を贈るなら」という設定で、人形に持たせる手紙を8～10文で書かせる。自己紹介・人形の説明・相手への願いの3つを入れるよう指示する。書き出しと結びの例を板書しておく。	手紙を8～10文で書く。自己紹介、人形の説明、相手へのメッセージを入れる。	“Imagine you send a doll to a child in another country.” “Write a letter for the doll. Eight to ten sentences.” “Introduce yourself, explain the doll, and write your wish.” “You can start with ‘Dear friend.’”
まとめ	7	4人グループで手紙を回し読みし、心に残った表現に付せんを貼らせる。各グループ1つずつ全体に紹介させる。最後に本文の最後の問い can culture protect friendship when politics turns against it? を読み、次の時間までの考える課題にする。	友だちの手紙を読み、よかった表現を1つ選んで紹介する。	“Pass your letter to the left. Read it.” “Put a sticky note on your favorite sentence.” “Which sentence did your group choose?” “Think about this question for next time.”

📌 板書例

The Blue-Eyed Dolls (1927)

USA → Japan : about 12,000 dolls

each doll: a passport, a ticket, a letter

leader: Sidney Gulick

Japan → USA : 58 dolls in silk kimono

War → many dolls destroyed / some hidden → a few hundred today

Q. Why children, not politicians?

Letter: Dear friend, / My name is _____. / This doll _____. / I hope _____. / Your friend, ____

✅ 評価のポイント

- 本文から、人形の持ち物・人数・その後の出来事を正しく読み取れたか（表で確認）。
- 手紙が8～10文あり、自己紹介・人形の説明・願いの3つが入っているか。
- ギュリックが子どもに期待した理由を、本文を根拠に説明できたか。

👉 つまづきへの手だて

- 読むのに時間がかかる生徒には、第1段落の和訳をそばに置いてよいことにする。
- 手紙の文が出てこない生徒には、書き出しの例文カード（My favorite thing is _____. / In Japan, we _____.）を渡す。
- 8文に届かない生徒は、まず5文を目標にし、人形の説明を足す方向で助言する。

🌟 発展

- このページの発展ワークシート（quiz・vocab・paraphrase）に取り組む。
- debate 的議論 Cultural exchange between children can prevent conflicts between countries. でミニ・ディベートをする。
- 自分の住む地域に青い目の人形が残っていないか、学校や資料館の情報を調べる。

📖 使う教材

- このサイトの英語ページの発展英文 The Blue-Eyed Dolls
- 発展セット（このページの quiz・vocab）



5. ひな祭り vs. 世界の「女の子の日」ミニ調べ学習

授業手順書（詳細版）／対象：大学／60分

Class _____ No. _____ Name _____

🌀 ねらい

ひな祭りと国際ガールズ・デーなどの目的を英語で整理し、「祝う日」と「考える日」の違いを説明したうえで、ひな祭りの新しい形を英語で提案できる。

📦 準備

- このサイトの記事「海外に似た日はある？」の国くらべ表（印刷・グループに1部）
- 分類用の大きな紙（celebration / awareness day の2列）とマーカー
- 調べ学習用の端末
- アクティビティ集 B5（国くらべ）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	8	「女の子のための日は世界にいくつあると思う？」と問い、思いつくものを挙げさせる。国くらべ表の中から、国連の国際ガールズ・デー（10月11日、2012年から）を紹介し、ひな祭りとの目的の違いに目を向けさせる。	知っている「女の子の日」を挙げ、国際ガールズ・デーの目的を確認する。	“Are there other days for girls around the world?” “The UN started the International Day of the Girl in 2012.” “Is it a party, or is it a day to think?”
展開1	15	グループに国くらべ表を配り、各行の行事の目的を英語1文で書かせる（例：Samjinnal welcomes spring.）。ハワイのGirls' Dayのように、表に書かれている事実だけを使うように伝える。	表の行事ごとに、目的を英語1文でまとめる。	“Read the table in your group.” “Write the purpose of each day in one English sentence.” “Use only the facts in the table.”
展開2	10	まとめた行事を celebration と awareness day の2列に分類させる。どちらにも入る、どちらにも入らないという意見が出たら、その理由を英語で書き添えさせる。	大きな紙に行事を分類し、迷ったものには理由を書く。	“Put each day into one of two groups.” “Celebration or awareness day?” “If you are not sure, write your reason.”
展開3	12	「ひな祭りに awareness の要素を加えるなら何ができるか」をグループで考えさせる。提案には、何をするか・誰が参加するか・なぜそれがよいかの3点を入れるよう指示する。	ひな祭りの新しい過ごし方を考え、英語で2分の発表メモを作る。	“How can Hinamatsuri also be a day to think?” “Tell us what to do, who joins, and why.” “Prepare a two-minute presentation.”
まとめ	15	各グループ2分で発表し、ほかのグループが質問や反論を1つずつする。最後に、行事を変えることの良い点と、伝統として残すことの意味の両方を短く振り返る。	提案を発表し、ほかのグループと英語で意見を交わす。	“Please start your presentation.” “Do you agree with their idea? Why or why not?” “Should a tradition change, or stay the same?”

📝 板書例

Days for girls
Hinamatsuri (Japan, March 3) → wish for health and happiness
International Day of the Girl (UN, October 11, since 2012) → education and rights

celebration (祝う日) | awareness day (考える日)

Proposal: What? / Who? / Why?

✅ 評価のポイント

- 表の行事の目的を、事実に合った英語1文でまとめられたか。
- celebration と awareness day の分類に、理由を添えられたか。
- 提案に「何を・誰が・なぜ」の3点が入っているか。質問に英語で答えられたか。

👉 つまずきへの手だて

- 英語が苦手なメンバーがいるグループには、The purpose of ____ is to ____ の型を渡す。
- 分類で迷うグループには、「お祝いの食べ物や飾りがあるか」を手がかりに考えさせる。
- 発表が苦手な学生には、メモを読みながらの発表でよいと伝える。

🌟 発展

- Discussion の問い Should these festivals be for all children now? について意見文を書く。
- 3月3日が国の祝日であるブルガリア（解放記念日）など、同じ日付の別の記念日を調べて紹介する。
- 発展英文 The Blue-Eyed Dolls を読み、行事が国と国を結んだ例として発表に加える。

📖 使う教材

- このサイトの記事の国くらべ表
- アクティビティ集 B5（国くらべ）